

上越市合併10周年記念



月影雅楽(浦川原区)

獅子天狗舞(中正善寺)

岡田の春駒(三和区)

名立太鼓連中(名立区)

あるさと上越～繋がる～

伝統芸能の祭典

「私たちの大切な文化遺産ーそこには地域愛の原点が観える」

越の国・上越市。郷土の伝統芸能をく絵巻物として綴っていきます。天上界、越の神は天地を揺るかす鼓動によって目覚め、天女の舞に誘われ下界へタイムスリップ。そして幾重の山々を超えて「祭りめぐり」の旅がはじまります。

ゲスト

上越初見参!!



秋田県男鹿半島なまはげ太鼓「忍荷」

天空の舞姫

ダンサー 若林美津枝

○友情出演
新生井天太鼓

○案内人
小劇団「越の神々」

○脚本・演出
長島 美穂

27年

8/30 (日)

13:00開場
13:30開演

全席自由
500円

※飲食料品禁入

会場：上越文化会館大ホール

■主催／上越文化会館

■後援／新潟日報社 每日新聞新潟支局 读売新聞新潟支局 朝日新聞新潟総局 信濃毎日新聞社
NHK新潟放送局 BSN新潟放送 NST TeNYテレビ新潟 UX新潟テレビ21 株式会社上越タイムズ社
上越よみうり JCV上越ケーブルビジョン FM-Jエフエム上越 上越市有線放送電話協会
ジャックランド 高田文化協会

○プレイガイド／上越文化会館／上越市民プラザ／リジョンプラザ上越／多田金レコード／マルケー旅行センター・エル
マール店／アコーレ・サービスカウンター／二葉楽器

お問い合わせ：上越文化会館 025-522-8800



出演団体のご紹介

浦川原区
月影雅樂



明治のはじめにできたという「谷の雅樂」は、戦中の村人招集でついに途絶えてしまいました。その後、雅樂の復活を願い若い後継者の育成に努めてきましたが、過疎が進むこの地では容易な事ではありませんでした。地元小学生の参加をきっかけに「月影こども雅樂」ができ、「月影雅樂保存会」が結成され現在にいたっています。

中正善寺
獅子天狗舞



三重県伊勢から伝わったものといわれていますが、上杉謙信が春日山城で城兵の慰安と士気高揚のため演じさせたともいわれています。戦前までは、地元の白山神社の祭、正月や盆、新暦祝いの席などで舞われていました。「悪魔払いの舞」、「御幣舞」、「玉遊びの舞」、そして「天狗と獅子の決闘の舞」の4つの場面で構成されます。

三和区
岡田の春駒



江戸時代に長野県小布施の侠客が教えたのが始まりであると伝わっています。集落内の婚礼の席でよく披露されていましたが今は五穀豊穣を願う風巻神社大祭の時に奉納披露されます。踊りは、左右の男2人がササラ(竹を細くしたもの)で団扇太鼓を打ち、真ん中で女装した人が駒頭を持って、三味線・太鼓の唄に合わせて踊ります。

名立区
名立太鼓連中



昭和58年に青少年の郷土愛と町民の連帯・協調に役立てることを目的として結成される。メンバーは13歳から50歳と幅広く、平均年齢は25歳と若い集団なので元気のいい演奏が特徴。毎年6月に奴奈川の郷太鼓フェスティバル、8月には名立祭、10月には火のアートフェスティバル(長野県東御市)と様々なイベント等に参加し、演奏を披露している。

ゲストのご紹介

若林美津枝 (わかばやしみづえ)



台湾人と日本人のハーフで佐渡島出身のダンサー。5歳よりジャズダンスを母親の若林素子に師事。モダンダンスを下田栄子に師事。全国ダンスコンクールで第1位を2回受賞。ジャズダンス世界大会では第6位。モダンダンス国際振付コンテストでは準グランプリなど、どちらも日本人初の快挙を成し遂げる。長身を活かしたダイナミックな表現と流れるような動きの繊細さが魅力として舞踊界でも注目を集めている。Studio PAL所属。

なまはげ
トラディション
of ogi spa
恩荷 (おんが)



男鹿市在住の有志で設立した和太鼓団体で、男鹿温泉郷をホームグラウンドに精力的な活動を継続中。演奏する曲目は、男鹿半島の風土や自然をモチーフしたオリジナル曲で、ナマハゲの迫力と和太鼓の勇壮さから独自の世界観が広がる。

毎年、春から秋にかけて、男鹿温泉交流会館“五風”にて「ナマハゲふれあい太鼓ライブ」を実施しているほか、各種イベント、キャンペーン等に多数参加している。

能生弁天太鼓 (友情出演)



昭和62年に当時の能生町商工会青年部らが中心となり、地域の活性化と青年の仲間づくりを目的に発足。平成7年、子供弁天太鼓がドイツで開催された青少年国際音楽祭に参加。平成9年、UAE(アラブ首長国連邦)に日本使節団の一員として派遣され、日本の音楽文化である和太鼓を披露。鼓面(こめん)の直径4尺(120cm)、重さが1トン余りという新潟県下では一番の大きさを誇る大太鼓の迫力は圧巻。